

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		(仮称)新・産業振興ビジョン策定委員会				
事務局 (担当課)		産業政策課 電話042-769-8237(直通)				
開催日時		平成26年9月11日(木) 午後3時10分～5時00分				
開催場所		市立産業会館4階 国際商談室				
出席者	委員	10人(別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	13人(環境経済局長、経済部長、他11人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 (仮称)新・産業振興ビジョン策定委員会規則について 3 委員長・副委員長選出 4 諮問 5 議題 (1) (仮称)新・産業振興ビジョンの策定について (2) 相模原市の産業の現状と課題について (3) アンケート、ヒアリングの実施方針(案)について (4) その他 6 その他 7 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

### 1 開 会

事務局の進行により開会し、委員名簿順に自己紹介された。

### 2 (仮称)新・産業振興ビジョン策定委員会規則について

事務局から本策定委員会設置の趣旨等について説明を行った。

### 3 委員長・副委員長選出

事務局から(仮称)新・産業振興ビジョン策定委員会規則第5条第2項により委員の互選により選出する旨を説明した。

互選により、委員長に青山学院大学社会情報学部教授の飯島泰裕委員を、副委員長に東京大学名誉教授の佐藤知正委員を選出し、飯島委員長、佐藤副委員長からそれぞれあいさつをいただいた。

### 4 諮問

(仮称)新・産業振興ビジョンの策定について、市長代理として、環境経済局長より委員長へ諮問書を手渡した。

### 5 議題( は委員の発言、 は事務局の発言)

飯島委員長の進行により議事に入った。

#### (1)(仮称)新・産業振興ビジョンの策定について

事務局から、本ビジョンの策定の概要について説明を行った。

総合計画とビジョンの策定期間で一部重ならない部分が出てくるが、どのような対応とするのか。

中間で見直しを行い、整合を図っていきたいと考えている。

作業部会の位置付けはどのようなものか。

工業、商業のそれぞれの分野からご意見等を伺い、取りまとめた上で委員会に報告しようと考えている。

策定の過程で、シンポジウムなどを開催し、周知を図ることもアイデアとして考えられるので、検討いただきたい。

#### (2)相模原市の産業の現状と課題について

事務局から、本市の産業の現状と課題について説明を行った。

生産額で見ると、サービス業、製造業、不動産業が三分しているが、不動産業が多いというのは、建物が多いから集積しているのか、不動産業の拠点があるから多いのか、その結果によっては考え方が変わってくると思われる。

不動産業の集積については、東京のベッドタウンとして人口が急増し、住宅開発が進んだことによる影響と思われるが、次回までに分析を進める。

今後、人口が減少することを考えると、住宅開発によるものであれば、落ち着いていく産業と捉えるべきだし、不動産業の本社が集積していることであれば、成長産業と考えるべきであることから、事務局で分析をお願いしたい。

資料の「製造業への依存度が高い産業構造」の中で、「製造業に偏った産業構造は市内経済の不安定化を招くリスクがあるとみるべき」とあるが、製造業があるからリスクというのは少し違うのではないか。

修正案を考え、次回までに示させていただく。

この資料のデータはその他の統計などと整合性はあるのか。

公的なデータを使用して作成しており、整合性はある。

海外で似たような都市や日本で模範となる都市はあるのか。

内陸工業都市というのは、世界であまり無い。ドイツなどヨーロッパで、以前は工業都市だったが、サービス産業化している都市などあるかと思うので、事務局で調べてもらいたい。

### (3) アンケート、ヒアリングの実施方針(案)について

事務局から、アンケート、ヒアリングの実施方針について説明を行った。

市外企業へアンケートするということが、どの範囲なのか。

市外企業の選出については、これから伸びる分野、誘致を進める業種を全国的に捉えて700社を抽出していきたい。相模原市で企業誘致を進めている製造業、金融、サービス業などを含めていきたい。

市内企業向けのもので、最後に自由意見を求めているが、これらに対するガイド、どういうものが産業振興ビジョンなのかが無いと答えられないと思うが、添付資料などは入れるのか。

事務局で案を検討する。

アンケートの実施時期はいつごろか。

承認をいただいた上で、9月下旬を予定している。

ヒアリング対象に信用金庫、信用組合といったものを入れたらどうか。また、産業別業界団体としてJAが入っているが、金融機関としたほうがいいのか。もう1点、地域包括協定を結んでいるスーパーや百貨店にもヒアリングしたほうがいいのか。

事務局で検討し、意見を反映していきたい。

日本がここ30年負け続けている理由は、ビジネスモデルにあると考えられる。そうしたことを踏まえて、設備投資を実施したかやビジネスモデルのようなものを聞いたり、抽出したりするような質問はできないか。

設問とすることは難しい部分もあるので、ヒアリングや作業部会において聞いていきたい。

#### (4) その他

事務局から、他自治体の事例について説明を行った。

新産業、インキュベーション、ベンチャーといったところと、地域活性化、貢献できる人材を増やしていくことは、どの都市でも指摘されている。その中で相模原らしさ、緑もあり、工業もあり、農業もあるというユニークな土地柄でもあるので、そういったものを上手く使ったものにできればと思う。

#### 6 その他

事務局から次回日程に関する事務連絡を行った。

- ・平成26年12月18日(木)午前10時から

(仮称)新・産業振興ビジョン策定委員会委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	飯島 泰裕	青山学院大学社会情報学部 教授	委員長	出席
2	上野 賢美	(株)共立代表取締役		出席
3	浦上 裕史	(社)相模原市商店連合会 代表理事		出席
4	上山 雅子	公募委員		出席
5	佐藤 知正	東京大学 名誉教授	副委員長	出席
6	杉岡 芳樹	相模原商工会議所 会頭	代理出席	出席
7	奈良 哲弥	津久井商工会 商業部会長		出席
8	最住 悦子	公募委員		出席
9	若生 ひとみ	ルビーデザイン 代表		出席
10	渡邊 博樹	(株)日本政策金融公庫厚木支店 支店長		出席

(50音順 敬称略)